



令和 7年 6月 25日

報道機関 各位

企画展示開催のご案内【7/8～9/25】

戦争と平和を考える 2025～戦争体験を語り継ぐモノたち～

◆本件のポイント！

当館所蔵資料や、本学教員の戦争と平和に関する教育・研究の一端、県内の平和への取り組みについてご紹介します。

◆本件の概要

当館では 2014 年より定期的に「戦争と平和」に関する企画展を開催していますが、今年は戦後 80 年の節目の年でもあり、昨年日本被団協がノーベル平和賞を受賞したことや、昨今の世界情勢からも、今あらためて大学という場で、戦争と平和を考える場を設定したいと考え企画するものです。

◆本件に関する写真



◆概要内容

期 間：2025(令和 7)年 7 月 8 日(火)～9 月 25 日(木)

時 間：附属図書館の開館時間中(右の QR コードで確認できます)

会 場：島根大学附属図書館本館 1 階展示室《地域コミュニティラボ》
〒690-8504 松江市西川津町 1060

主催：島根大学附属図書館

協力：雲南市永井隆記念館、安来市加納美術館(予定)、高嶋 敏展(個人)、本学法文学部教員



◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

島根大学 企画部 図書情報課(附属図書館)

電話:0852-32-6086 Mail:sabisu[at]lib.shimane-u.ac.jp

【添付資料： ☒あり(1 枚) ☐なし】

戦争と平和を考える 2025

～戦争体験を語り継ぐモノたち～

戦後80年目のこの夏。あらためて、戦争と平和について考えてみませんか。

【会期】

令和7(2025)年7月8日(火)～9月25日(木) 開館時間内

※詳しくは当館 HP 開館カレンダーをご覧ください。

【会場】

島根大学附属図書館本館 一階展示室(地域コミュニティラボ)

【内容】

- ◆長崎で原爆に遭いながらも負傷者の救助にあたった、三刀屋出身の医師・永井隆のサイン入り自著や、中国から帰還した元日本兵のその後を知ることができる山陰中帰連資料などを展示します。
- ◆戦前、国体に対する許しがたい思想だとして、批判を受けた憲法学者・美濃部達吉の「天皇機関説」。発禁処分となった美濃部の著書などを展示し、学問への禁圧からやがて戦争へと突き進んでいった時代を振り返ります。
- ◆当館所蔵の美濃部の著書に挟まった状態で偶然発見された一枚の紙片。それは、GHQから出された集会・デモ禁止の指示を、当時の国家警察隊長が本学教員へ通達した内容を記したメモでした。本展で初めて公開します。
- ◆戦争と平和に関する本学教員の教育・研究の成果や取り組みをはじめ、県内での平和への取り組みなどについても紹介します。

【主催】島根大学附属図書館

【協力】雲南市永井隆記念館

安来市加納美術館

高嶋 敏展(個人)

本学法文学部教員

入場
無料

【お問い合わせ先】島根大学附属図書館 情報サービスグループ

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

TEL:0852-32-6087 e-mail:sabisu@lib.shimane-u.ac.jp

【関連企画】DVD映画上映会を開催します!(鑑賞無料)

ぜひご参加ください。

	7/23 (水)	7/28 (月)	8/5 (火)	8/6 (水)
「生きる From Nagasaki」				10:00～11:20
「風が吹くとき」			10:00～11:30	13:30～15:00
「ラーゲリより愛をこめて」	13:30～16:00		13:30～16:00	
「マリウボリの20日間」		13:30～15:10		

会場:附属図書館3F多目的室